

奈弓連だより

通巻 203 号

平成 31 年 1 月号

発行 奈良県弓道連盟

会長 西中 正

編集担当 野尻賢司 山本悦子

連絡先 : henshu@narakyudo.jp

会長年頭所感

奈良県弓道連盟のさらなる発展に向けて、皆様のご協力を をお願いします

奈良県弓道連盟 会長 西中 正



新年 明けましておめでとうございます。会員の皆様には、平成最後となりました旧年の様々な想いととも、良い新年をお迎えのことと、

お喜び申し上げます。2019 年、穏やかな元日を迎えることができ、良いスタートがきれました。

昨年は、夏の熱中症対策や台風による被害が各行事に影響を残した年でした。そのような厳しい環境の中でしたが、若人たちが競技会では活躍され素晴らしい成果を残されました。台風の中、開催された国体では成年男子の近的競技で県代表（今西達也・奥田章人・新子修平選手）が 8 位入賞を果たされました。また、高校総体では女子では、畝傍高校の芳田小都希選手が 5 位入賞。全国中学生大会では、男子団体で香芝中学校が 3 位入賞、女子団体では橿原中学校が 5 位入賞、女子個人では橿原中学校の山田春奈選手が 6 位入賞されました。

一方、審査会では、七段 1 名、六段 3 名、錬士 3 名、五段 9 名の方が昇段昇格されました。今後のご活躍に期待します。

今年は、平成の時代が終わり、新しい元号になります。全日本弓道連盟は、昭和 24 年創立、今年で 70 周年を迎え 5 月 2 日に京都市勧業館「みやこめっせ」にて、記念のイベントが行われます。奈良県弓道連盟は、翌年昭和 25 年に発足しました。先人の皆様の努力で現在の活気ある弓道連盟が活動できることに改めて感謝し、これからも発展していけるよう会員の皆様のご協力、お力添えをいただき努力していきたく思います。

来年度の年間行事案が全弓連、近畿連合会、県内の理事会で出されました。8 月には国体近畿ブロック大会が奈良県担当で、橿原公苑弓道場で開催されます。9 月には近畿連合審査会が奈良市で実施されます。暑い時期の運営担当になりますがご協力をお願いします。

奈良県弓道連盟 新年射初会

154 名が参加して祝射

1 月 6 日奈良県弓道連盟の新年射初会が橿原公苑弓道場にて開催されました。西中正会長の矢渡し(第一介添:吉本清巳、第二介添:藤岡順)の後、昨年の中央審査及び連合審査で五段～七段、錬士に合格された方々の演武が行われ、その後、参加者 154 名が各一手 2 回の四射を射初めとしました。支部・地区対抗戦は 1 位橿原支部 (30 中)、奈良支部 (30 中)、3 位郡山支部 (17 中) となりました。

(競技部 西田ゆり)

大和神社御弓始祭

青空の下、五穀豊穰・天下太平を祈り行射

新春恒例の天理市の大和（おおやまと）神社の御弓始祭が 1 月 4 日に行われました。この行事は、昭和 26 年ころから奈良県弓道連盟が奉仕しており、お宮の伝統行事として広く知られております。

当日は天候にも恵まれ、神事後、五穀豊穰・天下太平を祈り行射が行われました。最初に、的皮にすべての魔・邪気を集め、それらの魔を鏑矢の音で祓うという「藁目の儀」が執行されました。昨年に引き続き、深田副会長が射手を、介添も女性が務め、厳かな雰囲気の中、場が清められました。

続いて、宮司が一手を引かれ、年預さんと呼ばれるお宮の役員さん 4 名が袴の衣装で一手ずつ大的に向かい、見事的中。的裏に潜む魔性退散に努められました。



「墓目の儀」では昨年に引き続き、深田副会長が射手を務められました

その後、天理南中学校の弓道部員の10名が、2人ずつ大的に向かい的中を重ね、家族や学校関係者から大きな声援を受けながら無事執行されました。

最後に、県弓道連盟の会員で男子5名、女子5名の射手を含め総勢25名で百手式が執行されました。

百手式をはじめ古式弓道は、足さばきなど現在弓道と異なるところも多く、すぐに出来るとは限りません。射手を務めるには、場の流れ、所作の方法等経験が必要になってきます。興味のある方は、是非参加していただき、伝統行事を引き継いでいただきたいと思います。

(奈良支部 新司正人)

三十三間堂大的全国大会 乾選手が称号者の部で3位

第69回三十三間堂大的全国大会が1月13日に開催されましたが、称号者の部において、乾光孝選手(香芝支部)が3位に入賞されました。おめでとうございます。

(事務局)

乾光孝さんの喜びの声

例年の三十三間堂は雪が積もる寒さの中での行射ですが今年は天候も良く寒さも和らぐ心地よい日となりました。いつもなら新成人も多く参加ですが、今年は13日に成人式を行う自治体もあったようで少し新成人の姿が少なく感じました。

称号者の部はいつも昼を回り気温が一層下がってくる頃に始まりますが今年は少し早く引ける事と程よく竹弓の冴える寒さの中での予選でした。行射が終わり射場より出る時に干支の土鈴を頂き皆中したのを知りました。

決勝は50cm的に変わり2本目を抜いてしまいましたが、3位決定の遠近競射にて3位に入賞しました。

先生方には、寒い中最後まで応援していただきありがとうございました。

昇格、昇段おめでとうございます

全日本弓道連盟中央道場で12月22日に開催された特別臨時中央審査会において、次の方が錬士に昇格されました。

高橋 悟史(郡山支部)

檀原公苑弓道場で12月16日に開催された地連臨時審査会において、次の皆さんが四段に昇段されました。

向 恵(檀原支部)

佐藤 昭男(郡山支部)

馬場 雄一(奈良支部)

おめでとうございます。

(事務局)

奈良県臨時地連審査会

級位17名、初段23名、弐段12名、参段5名、四段3名が合格

12月16日に檀原公苑弓道場において第278回奈良県臨時地連審査会が開催されました。結果は次のとおりです。

級位 受審者19名 欠席1名 合格17名
(1級15名、2級2名、原級1名)

初段 受審者32名 合格23名

弐段 受審者16名 合格12名

参段 受審者21名 合格5名

四段 受審者14名 合格3名

(審査部 平木一史)

第23回布目弓道場108中射会

平成最後の年の大晦日に、22名で108中に挑む

恒例の108中射会が布目弓道場英明館にて開催され、支部、地連の垣根を超えて老若男女22名が参加し、弦音を山添村の山あいには響かせました。開場時には厳しい冷え込みでしたが、参加者の熱い思いと気迫が道場内を包み、凜とした空気の中で9時から3人立一手座射で始まった射会は、85中辺りから1本ずつの射となり、誰に108中目のチャンスがまわってくるのか、皆が固唾をのんで、緊張感を持ちながら見守りました。108中目が決まったときは、大きな拍手と溜息です。今回の成績は次の通り。

108中賞 : 井藤 良子

アシスト賞 : 横沼 由美子

50中賞 : 吉本 清信

100中賞 : 井戸上 博一

最的中賞 : 横沼 由美子(12中/15射)

総矢数 322射



108 中目が決まった瞬間、大きな拍手が沸き起こった

射会后、吉本先生を囲んでの懇親会が有り、年越しそばと真鍋さん手作りのおでんや差し入れのケーキやミカンをおいしくいただき満足、満足。最後に片づけを行い、15時半過ぎにお開きになりました。

今回初めての参加でしたが 和気あいあいの中でも夫々が真剣に取り組み、今年の射の納めができたことに感謝しております。皆さん、年末の忙しい最中ですが、時間の許す限りぜひ参加していただき、来年につながる108中目の“福”を自らつかみ取りましょう。

(奈良支部 中川 亨)

中学冬期強化練習会 射技・体配ともに格段にレベルアップ

平成30年12月から平成31年の1月にかけて、計5回の中学冬季強化練習会を行いました。毎年実施している講習会ですが、今年度は班別研修を充実させて、全体の休憩時間以外は生徒が常に何らかの研修を行っているように運営すると共に、休憩時間も最小限にとどめるなど非常に熱の入った練習会になりました。また、強化部の協力を得ながら模範演武や射技研修も毎回積極的に行いました。特に、射技研修においては講師が毎回同じ先生とは限らないことから、毎回の指導内容を記録し、講師間で共有した上で次回の指導にあたるなど工夫を凝らして運営にあたりました。また、体配研修も審査の要領での一手坐射をしっかりできることを目標に練習。その甲斐あって、最終日の仕上げ行射では射技・体配ともに格段にレベルアップした姿を見ることができました。



奥田章人先生の国体の体験談などを聞く受講生たち

また、第4回目の練習会では、昨年国体で入賞を果たした奥田章人先生に、国体の体験談、試合の取り組み方について、お話しいただきました。奥田先生の講演は事後アンケートでも好評で、射技や体配だけではなくメンタル面でも良い学びを提供できたのではないかと振り返っています。

今回学んだ内容は、まだうまくできないところも含めて、今後それぞれの中学校において弓友と共有し、さらに練習して欲しいと思います。

講師一同、将来また一緒に弓が引ける日を楽しみにしながら、中学生の皆さんのご活躍をお祈りしています。これからもお互いに頑張りましょう。

(指導部 大西 洋亮)

布目・石打・シャープ弓道部オープン新年射会 前代未聞の贅沢な納射が出現

日頃、布目・石打道場で練習しているメンバーが寄り集まっての新年射会を開催してはと、吉本先生からご提案があり、とりあえず今年はシャープ弓道部の新年射会をオープン射会として、1月5日(土)布目弓道場・英明館で開催することになりました。

矢渡し、奉射に始まり、いくつかの余興的で楽しく過ごしました。最後の風船的競技では、各自が中てた風船の中には、「賞品」、「外れ」、「納射の役割」があり、なんと吉本先生が第二介添えを務めていただき、シャープ弓道部の太田さんが射手をするという贅沢な納射となりました。当日は次の内容で実施されました。

- 矢渡し (シャープ弓道部三役)
- 奉射 (矢振りによる立順で各人一手奉射)
- 金的 (三光)
- 花的 (松・梅・桜)
- 射割り (飛・中・貫)
- 扇的
- 風船的
- 納射 (射手：太田和宏五段、第一介添：野尻祥枝教士六段、第二介添：吉本清信範士九段) 盛り沢山で、面白かった。来年は、また趣向を凝らして、大的(実業团的)の得点制とか、源平とかも・・・



(シャープ弓道部 工藤裕章)

全国高等学校弓道選抜大会

梶本俊輔選手(奈良高校)が決勝進出

12月24日～26日に第37回全国高等学校弓道選抜大会がジップアリーナ岡山特設弓道場で開催されました。

個人戦で梶本俊輔選手(奈良高校)は決勝まで進みましたが、入賞を果たすことができませんでした。また団体戦は男女とも予選通過することができませんでした。

奈良県代表の結果は次の通りです。

個人戦 予選 (各自4射3中以上通過)

男子

坂上宗平(五條) 1中

梶本俊輔(奈良) 3中(通過)

女子

石田 玲奈(登美ヶ丘) 1中

長山 萌々花(奈良北) 0中

個人戦 準決勝 (各自4射3中以上通過)

梶本俊輔(奈良) 4中(通過)

個人戦 決勝射詰

梶本俊輔(奈良) ○×

団体戦 予選

(各自4射各校12射・16校が予選通過)

男子

樫原高校

(尾井 響涼・松岡 賢・辻井 寛己・平田 晶己)

5中で予選敗退

女子

平城高校

(吉田 実莉・三橋 瞳・藤井 美月・浦崎 野々華)

1中で予選敗退

(高体連 藤村 佳照)

冬期錬成大会

県内の高等学校を4日間に分け、合同で強化練習

平成30年度冬期錬成大会が12月24日～27日に樫原公苑弓道場で開催されました。この錬成大会では県内の学校を4日間に分け、合同で強化練習会を行い、上位3位までを表彰しました。

24日

参加校(奈良大附属・奈良高専・畝傍・榛生昇陽・大宇陀・高田商業・青翔)

男子

1位 畝傍B(藤中・徳留・岡崎)

2位 畝傍A(國志・堀内・北村)

3位 榛生昇陽A(城本・中島・乾)

女子

1位 榛生昇陽C(池田・桶谷・新字)

2位 畝傍L(今西・東・谷口)

3位 畝傍K(大枝・綿井・三浦)

25日

参加校(西の京・法隆寺国際・桜井)

男子

1位 西の京A(山本・窪内・佐谷)

2位 桜井B(岡本・福井・石黒)

3位 西の京B(緒方・福永・山下)

女子

1位 西の京J(松永・望月・鈴木)

2位 西の京G(岡田・奥山・水野)

3位 西の京H(一丸・原・竹谷)

26日

参加校(奈良・登美ヶ丘・奈良北・西和清陵・王寺工業)

男子

1位 奈良H(梶本・壺井・吉村)

2位 奈良北A(豊田・岡・塩津)

3位 王寺工業B(坂上・永井・榊原)

女子

1位 奈良北A(長山・遠山・鶴野)

2位 奈良北D(岡田・平田・秋田)

3位 奈良K(林・土佐・西岡)

27日

参加校(平城・郡山・磯城野・樫原・五條)

男子

1位 平城A(久保田・井岡・大鎌)

2位 郡山A(久田・火威・鈴木)

3位 平城B(村井・藤井・松尾)

女子

1位 郡山E(北川・落合・北口)

2位 樫原F(貝谷・大和田・笹内)

3位 郡山G(佐藤・中山・藤井)

(高体連 藤村 佳照)

編集 | 後 | 記

新年、明けましておめでとうございます。

年の初めに、教本を開いた。「弓道の修練が心身ともに、日常生活につながることを念願している。弓道は体育や健康のためばかりではなく、人生をより、豊かにするものでなければならない。昔から射即生活とか、射即人生といわれてきたことを忘れてはならない」とあります。どのような豊かさを手にしたのだろうかと配偶者と自問してみました。射技が上達しない、悪癖が治らないと悩んでばかりいないで、この原点に立ち戻ろうと思いました。

本年も皆様の活躍を伝えるよう努めます。どしどしニュース・写真をお寄せください。またこの「奈弓連だより」は奈弓連のホームページよりダウンロードできますから、是非ご利用ください。

編集担当 野尻賢司